

令和6年度第3回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時：令和7年3月14日（金）午後1時45分～午後3時15分
- 2 開催場所：浦安市文化会館 大会議室
- 3 出席者
（委員）鈴木会長、原田委員、北尾委員、下間委員、宮川委員、菅原委員、澤田委員、田中委員、小田委員、田邊委員
（教育委員会）船橋教育長、田中教育次長、大塚教育総務部長、峯崎保健体育安全課長、本沢千鳥学校給食センター所長、事務局7人
- 4 傍聴人：2人
- 5 議事概要及び会議経過
 - (1) 審議事項
「ア 浦安市学校給食センター運営方針改訂版（案）について」及び「イ 浦安市学校給食物資規格基準書改訂版（案）について」、事務局より説明し、了承を得た。委員からの主な質問及び意見は、次のとおり。
（委員）食材の選定について、現在使用していないがアレルギーが発生する可能性があるという説明により、使用しない食材として新しく加えられたキウイフルーツ、いくらがあるが、びわも追加した方が良いと思う。去年、びわアレルギーが発生したという学校があるということから、びわも入れた方が整合性がある。
（事務局）今回使用しない食材として加えたキウイフルーツ、いくらは、給食に使用していなかったが明示していなかった。アレルギーを持つ児童生徒の保護者は食品材料一覧表の中から探さなければならないので、使用しない食材として明示した方が保護者のために良いと考えた。びわについては実際に使っているか確認したい。
（委員）確認してもらいたい。びわアレルギーで、多分、小学校だったと思うが、複数人アレルギー症状が出たが、びわが原因だったと報道されていた。インターネットで確認して判明したら、びわも使用しない食材として追加しておいてもらいたい。
（委員）浦安市では去年1年は、びわを提供していないと思うが、学校現場や保護者も明示してもらえると助かるので検討してもらいたい。
（委員）今までの過去の使用等を確認し検討してもらいたい。
 - (2) 報告事項
「ア 学校給食の残渣について」及び「イ 学校給食の取り組みについて」、事務局より説明した。委員からの主な質問及び意見は、次のとおり。
（委員）副食の残渣率は随分減少しているように見受けられるが、主食については資料では残渣量が今年度1・2学期で約67トン発生している。児童生徒への栄養として学校給食摂取基準により換算して米飯を使用していると思うが残渣の一定割合をオートミールに変える提案をしたい。以前、

残渣を、おにぎりにすると劣化の問題があるということだったが、米飯給食の日に使用期限を記載し小分けパックにしたオートミールを提供すれば良いと思う。

牛乳は必ず提供されるので、米飯を食べても食べ足りない児童生徒がいればオートミールをかけて食べてもらえば良いと思う。残渣については肥料等の処理がされているが、オートミールを一つの手段として提案したい。

(事務局) 主食、米飯についての提案だが、米飯は炊飯された状態で納品されているので、追加して納品が可能かどうか検討したい。

(3) その他

事務局より、本日の会議をもって今年度会議が終了するので委員に感謝の意を示すとともに、今後の協力を依頼した。